

陸上部 全道&全国出場

開成校新聞

発行 開成中等新聞局
発行責任者 阿部 * * *
制作者 本家 若井 沼津

1/365コマ



被服室の扇風機。昨年、生徒に保冷剤を配布して涼んでいたが、今年は扇風機4台で補っている。

男女共に記憶に残る濃い5日 1600mリレー記録更新



6月16日から20日の5日間、旭川市花咲スポーツ公園陸上競技場にて、北海道陸上競技選手権大会が行われた。後期陸上部部長6年の吉田碧さんと、4年の安田乃々さんが大会に出場し、6年の泉亭拓海さんは、インターハイに出場することが決定した。

▶全道大会終わりの後期陸上部の集合写真

Q1 大会の結果についてどう考えますか？
吉田：練習の成果を發揮できた人もいれば、新たな課題を発見した人もいました。また、インターハイに出場することが決定した選手もいたり、1600mリレーでは、男女ともに開成中等記録を更新することができ、部としてもレベルの高いものになったと思います。

Q2 インターハイ出場が決定したとき、どのような心遣いしたか？
泉亭：今回の大会では、800mと1500mの2種目でのインターハイに出場を目標にしていました。昨年度は800mだけ出場したため、今回は特に1500mに出場することが決定し、嬉しかったです。しかし、優勝を狙っていた800mは2位という結果になり、非常に悔しいです。

▶表彰台上がる泉亭選手



Q3 大会の中で印象に残ったことはありますか？
安田：休憩スペースのテントで座るにはブルーシートを敷く必要があるのですが、部員が誰も持参していなかったことです。結局、顧問の宮島先生が近くのホームセンターで買ってきてくれました。



Q4 遠征で、特に仲が深まった瞬間はありますか？
吉田：大会中は大体の人がホテルの2人部屋

に泊まりました。普段はあまりできない会話もでき、部員の初めて見る一面が知れました。
Q5 大会中のご飯はどうしましたか？
吉田：朝食は、ホテルで部員全員で一緒に食べました。
安田：お昼はスーパーで軽食を買って持参する日もあれば、競技場近くの丸亀製麺で夕食する日もありました。夜は外食が多く、みんな門限を守って自由に楽しんでいました。

Q6 支えになったものはありましたか？
吉田：マネージャーからのエールが込められた部員一人一人に向けたお守りです。

前期陸上部においては、6月28日、29日の第71回全日本中学校通信陸上競技大会 北海道札幌大会で、女子4×100mリレーが見事全道大会の標準を突破し、7月22日から24日に行われる全道大会へ出場することが決定した。

